

まちづくり交付金 事後評価シート
鎌倉駅周辺地区

平成22年3月

神奈川県鎌倉市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	鎌倉市		地区名	鎌倉駅周辺地区			面積	720ha			
交付期間	平成17年度～平成21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	1,569百万	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 市道001-000号線(小町大路)、市道002-000号線(海岸通り)、市道008-000号線(今小路通り)、市道027-000号線(市役所通り)、市道032-000号線(小町通り)、市道032-029号線(小町踏切)、市道034-062・204-044号線(荏柄天神)、観光案内サイン、市道027-000号線、市道027-010号線、市道205-091号線、鎌倉駅東口駅前広場、公共トイレ										
			提案事業	住居表示ユニバーサルデザイン化事業、鎌倉駅舎バリアフリー化事業、市民参画まちづくり活動支援事業、観光基本計画策定事業										
	当初計画から削除した事業		基幹事業	市道034-062・204-044号線(荏柄天神)、市道027-000号線、		荏柄天神: 地元の意向を尊重し中止 市道027-000号線: 地権者と合意できず事業中止		荏柄天神: 影響なし 市道027-000号線: 指標1に影響するが据え置く。						
			提案事業	鎌倉駅舎バリアフリー化事業、観光基本計画策定事業		別途補助金活用により、まち交補助対象事業から削除 計画対象範囲が全市に及ぶため		事業を削除したが指標等に影響なし						
	新たに追加した事業		基幹事業	市道001-052号線他2路線、材木座四丁目街区公園、市道032-000号線(小町通り)、鎌倉駅東口駅構内観光案内所、鎌倉中央図書館EV		市道001-052号線他: 歩行者空間の環境改善 街区公園: 観光スポットに気軽に安らげる空間を提供するため。 小町通り: 景観舗装と照明施設を追加したため。 観光案内所: 鎌倉駅東口駅構内の改修にあわせて追加した。 鎌倉中央図書館: 鎌倉中央図書館のバリアフリー化のため新たに追加。		新規事業追加や事業内容の変更があったが指標等に影響なし						
提案事業			雨水管渠築造事業、亀ヶ谷坂切通し保存修景整備事業、自転車等駐輪対策事業、御成小学校冠木門保全事業、鎌倉駅西口周辺地区整備推進計画策定事業、景観地区指定調査検討事業、事業効果分析業務		雨水管渠築造事業: 市道008-000号線改良事業に合わせ新たに追加 亀ヶ谷坂修景整備事業: 貴重な自然遺産を保存・活用するため 自転車駐輪対策: 放置自転車等防止のため新たに追加 御成小学校冠木門: 地域の財産、学校のシンボルとして保全していくため 西口整備推進計画策定事業: 市民との協働により検討するため 景観地区指定調査: 景観地区の指定に先立って必要な検討を市民との協働で行なうため 事業効果分析業務: 今後のまちづくりを検討するため		新規事業追加や事業内容の変更があったが指標等に影響なし							
交付期間の変更		当初	平成17年度～平成21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
		変更	なし											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	安全な歩行者空間満足度	%	16	H15	40	H21	モニタリング	評価値	25.6	△	あり	一部未整備区間がでしまったことや指標設定に課題があったことから、目標値には達しなかったが、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施できた。	H23年3月
	指標2	ミニバス利用者移動時間	分/片道	20	H16	16	H21			20	×	あり	関係権利者等との合意に至らなかったため、ミニバス乗降場の整備ができなかった。	
	指標3	観光客数	万人/年	1,768	H15	2,000	H21			2,003	○	あり	観光ルート板、名所掲示板、観光案内所などは、観光客に対するホスピタリティは向上した。	H23年5月
											なし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)			
	その他の数値指標1	観光振興に取り組む姿勢の満足度(市民の満足度)	%	63.7	H15					79.7		観光ルート板、名所掲示板、観光案内所などは、地域住民のホスピタリティを向上させた。	H23年3月	
	その他の数値指標2	道路交通環境に関する満足度(市民の満足度)	%	7.2	H15					14.8		各道路事業により、交差点前後部及び路側部のカラー化等により、視認性・安全性が確保され、地域住民が満足できた。	H23年3月	
	その他の数値指標3	観光客の満足度	%	59.2	H17					80.0		観光ルート板、名所掲示板、観光案内所などの整備により、観光客の満足度は向上した。	H23年5月	
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 駅前の歩行者空間の拡幅とバリアフリー化により、小学生の通学やベビーカー利用、子どもと歩く方などから、歩きやすくなったという声が聞かれた。 踏切の歩行者空間が狭くて危険だったが、歩行者空間の拡幅とカラーによる明示により、安全に通行できるようになったという声が聞かれた。 市民との協働作業により、市民のまちづくりに対する意欲が大きく向上した。 観光案内サインが多言語されたことにより、外国人観光客からまち歩きしやすいとの声が聞かれた。 公共トイレがバリアフリー化されたことによって、障害者から安心して利用できるようになったとの声が聞かれた。 													
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				なし			
	住民参加プロセス		市民参画による古都中心市街地まちづくり構想などの推進				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も市民参画体制を継続し、計画づくりを進める。			
	持続的なまちづくり体制の構築		古都中心市街地まちづくり協議会の継続運営				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も市民参画体制を継続し、計画づくりを進める。			

様式2-2 地区の概要

鎌倉駅周辺地区(神奈川県鎌倉市) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	指標	単位	従前値	目標値	従前値	目標値	評価値	目標値
豊かな歴史的遺産と身近な山並み、青い海などの良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる古都鎌倉の顔を市民との協働により再創造する。 ①世界遺産登録を目指す歴史・文化都市鎌倉の玄関口にふさわしい景観に配慮した、質の高い駅周辺都市空間の再整備を図る。 ②駅から主要観光スポット・公共施設までの危険箇所改善、バリアフリー化を実施し、市民・来訪者が安全で安心して歩ける歩行者空間の改善を図る。 ③駅周辺、主要観光スポット周辺において、観光客をはじめとした来訪者を温かくもてなし、市民と調和のとれた関係を築くことが出来る快適な環境整備を図る。	安全な歩行者空間満足度	単位: %	16	H15	40	H21	25.6	H21
	ミニバス利用者移動時間	単位: 分/片道	20	H16	16	H21	20.0	H21
	観光客数	単位: 万人/年	1,768	H15	2,000	H21	2,003	H21
	観光振興に取り組む姿勢の満足度	単位: %	63.7	H15	-	-	79.7	H21
	道路交通環境に関する満足度	単位: %	7.2	H15	-	-	14.8	H21
	観光客の満足度	単位: %	59.2	H17	-	-	80.0	H21



材木座第一公衆便所



中央図書館エレベータ
(基幹・バリアフリー環境整備促進事業)

■基幹事業: 道路(市)JR東日本H17~H18
市道032-029号線改良事業



鎌倉駅西口駅前広場イメージ

□提案事業: 事業活用調査(市)H21

■基幹事業: 道路(市)H18~H21



歩道拡幅イメージ図

□提案事業: 地域創造支援事業(市)H20

□提案事業: 地域創造支援事業

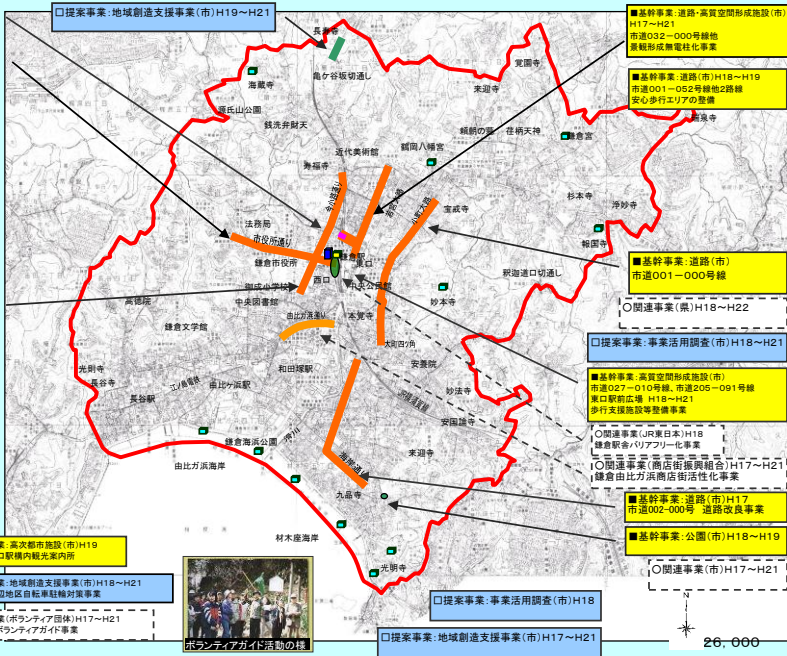
□基幹事業: 人にやさしいまちづくり事業
中央図書館ユニバーサルデザイン化事業(市)H19

○関連事業(市)H18

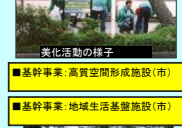
■基幹事業: 高次都市施設(市)H19
鎌倉駅西口駅構内観光案内所

□提案事業: 地域創造支援事業(市)H18~H21
鎌倉駅周辺地区自転車駐輪対策事業

○関連事業(市)H17~H21
シルバートラックガイド事業



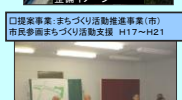
■基幹事業: 道路・高質空間形成施設(市)H17~H21
市道032-000号線他
景観形成無電柱化事業



美化活動の様子

■基幹事業: 高質空間形成施設(市)

■基幹事業: 道路(市)H18~H19
市道001-052号線他2路線
安心歩行エリアの整備



整備イメージ

□提案事業: 事業活用調査(市)H18~H21

■基幹事業: 高質空間形成施設(市)
市道027-010号線、市道208-091号線
東口駅前広場 H18~H21
歩行支援施設等整備事業

○関連事業(JR東日本)H18
鎌倉駅バリアフリー化事業

○関連事業(商店街振興組合)H17~H21
鎌倉由比ヶ浜商店街活性化事業

■基幹事業: 道路(市)H17
市道002-000号 道路改良事業

■基幹事業: 公園(市)H18~H19

○関連事業(市)H17~H21

□提案事業: 事業活用調査(市)H18

□提案事業: 地域創造支援事業(市)H17~H21

○関連事業(市)H18~H21

○関連事業(市)H18~H21

○関連事業(市)H18~H21

○関連事業(市)H18~H21

○関連事業(市)H18~H21

○関連事業(市)H18~H21

○関連事業(市)H18~H21

○関連事業(市)H18~H21

○関連事業(市)H18~H21

○関連事業(市)H18~H21

○関連事業(市)H18~H21



JR小町踏切り



材木座四丁目公園

まちの課題の変化
・公共施設・観光スポットまでの歩行者動線や施設等のバリアフリー化については、一部達成されたが引き続き未整備部分の事業実施が必要である。
・観光客をあたたく迎え入れる施設や空間の確保については、公共トイレの改修や観光案内サイン整備事業により観光客に対するホスピタリティは向上された。引き続き公共トイレのバリアフリー化については整備が必要である。
・公共交通であるバスの駅前乗降場の整備という課題があったが、関係権利者全員との合意には至らなかったため、ミニバスの乗降場用地の確保及び整備ができなかった。よって、ミニバス移動時間の短縮が改善されていないため、引き続き関係権利者全員との協議・合意形成に向けた交渉を継続していく。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)
・公共トイレのバリアフリー化などを引き続き計画的に改修していく。不足する公共トイレについては、商店への協力などソフト事業も含め検討していきたい。
・道路については、権利者との合意や財政状況の悪化により一部区間だけの整備となったため、引き続き権利者との協議・合意形成に向けた交渉を継続していく。
・鎌倉駅西口周辺地区整備については、引き続き権利者と事業の合意に向けて交渉を行い、市民と協働で駅前広場の整備を図る。

まちづくり交付金 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

- 添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9—有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

			変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	市道001-000号線(小町大路)	100	L=500m	68	L=1700	整備箇所は延長したが、地元調整に時間を要したため一部緑化施設、タイル舗装が困難となった	整備箇所を延長したもので指標等に影響なし	●	
道路	市道002-000号線(海岸通り)	30	L=230m	30	L=230m	なし		●	
道路	市道008-000号線(今小路通り)	155	L=760m	143	L=1050m	新たに整備方針が策定され、必要な事業を追加した。事業費については、神奈川県企業庁が一部工事を行うこととなったため減額となった。	整備箇所を延長したもので指標等に影響なし	●	
道路	市道027-000号線(市役所通り)	1,550	L=350m	44	L=220m	権利者と合意が得られず、事業縮小。	安全な歩行空間満足度の指標に影響するが、指標は据え置く。	●	
道路	市道032-000号線(小町通り)	470	L=600m	440	L=600m	地元調整に時間を要したため一部緑化施設、タイル舗装が困難となった。	事業費に変更が生じたが指標等に影響なし	●	
道路	市道032-029号線(小町踏切)	46	L=23.5m	49	L=83.5m	新たに整備方針が策定され、整備路線を延長して必要な事業を行った。	整備箇所を延長したもので指標等に影響なし	●	
道路	市道001-052号線他2路線	—	なし	3	L=103.3m	平成18年に計画変更して追加	新たに事業を追加したもので指標等に影響なし	●	
道路	市道034-062・204-044号線(荏柄天神)	50	L=280m	0	L=0m	平成20年に計画変更して削除。地元の意向を尊重し、実施自体を中止。	事業を削除したが指標等に影響なし		
公園	材木座四丁目街区公園	—	なし	115	930㎡	平成18年に計画変更して追加。	新たに事業を追加したもので指標等に影響なし	●	
地域生活基盤施設	観光案内サイン	78	50箇所	53	140箇所	市民要望により設置箇所増加。入札差金により事業費精査。	設置箇所を増加したもので指標等に影響なし	●	
地域生活基盤施設	市道027-000号線	130	L=600m	0	L=0m	平成20年に計画変更して削除。権利者と合意が得られず事業中止。	安全な歩行空間満足度の指標に影響するが、指標は据え置く。		
高質空間形成施設	市道027-010号線	10	L=110m	10	L=110m	なし	—		●
高質空間形成施設	市道032-000号線(小町通り)	—	なし	20	L=70m	平成21年に計画変更して追加。	新たに事業を追加したもので指標等に影響なし		●
高質空間形成施設	市道205-091号線	2	L=100m	2	L=100m	なし	—		●
高質空間形成施設	鎌倉駅東口駅前広場	4	L=200m	4	L=200m	なし	—		●
高質空間形成施設	公共トイレ	109	6箇所	285	8箇所	計画区域拡大に伴い、対象トイレを増加した。	整備箇所を拡大したもので指標等に影響なし	●	
高次都市施設	鎌倉駅東口駅構内観光案内所	—	なし	10	20㎡	平成19年に計画変更して追加。	新たに事業を追加したもので指標等に影響なし	●	
バリアフリー環境整備事業	鎌倉中央図書館	—	なし	41	1基	平成19年に計画変更して追加。	新たに事業を追加したもので指標等に影響なし	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	住居表示ユニバーサルデザイン化 事業	5	1600枚	5	1600枚	なし	—		●
	雨水管渠築造事業	—	なし	78	L=190m	平成18年に計画変更して追加	新たに事業を追加したもので指標等に影響なし	●	
	亀ヶ谷切通し保存修景整備事業	—	なし	64	L=100m	平成18年に計画変更して追加	新たに事業を追加したもので指標等に影響なし		●
	自転車等駐輪対策事業	—	なし	11	8ha	平成18年に計画変更して追加	新たに事業を追加したもので指標等に影響なし		●
	御成小学校冠木門保全事業	—	なし	6	1基	平成20年に計画変更して追加	新たに事業を追加したもので指標等に影響なし	●	
	鎌倉駅舎バリアフリー化事業	120	2000㎡	0	0	平成18年に計画変更して削除 別途補助金活用により、まち交補 助対象事業から削除する。	事業を削除したもので指標等に影響なし		
事業活用調査	鎌倉駅西口周辺地区整備推進計画 策定事業	—	なし	64		平成18年に計画変更して追加	新たに事業を追加したもので指標等に影響なし	●	
	景観地区指定調査検討事業	—	なし	5		平成18年に計画変更して追加	新たに事業を追加したもので指標等に影響なし	●	
	事業効果分析業務	—	なし	5		平成20年に計画変更して追加	新たに事業を追加したもので指標等に影響なし		●
	観光基本計画策定事業	1		0		平成18年に計画変更して削除 市費単独事業に変更。	事業を削除したもので指標等に影響なし		
まちづくり 活動推進事業	市民参画まちづくり活動支援事業	25		14		事業進捗にあわせて削減	事業を削除したもので指標等に影響なし	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
鎌倉由比ガ浜商店街活性化事業		由比ガ浜通り	151	151	平成17年度～平成21年度	平成17年度～平成21年度	—	
鎌倉駅周辺地区歩行者交通安全対策事業		鎌倉駅周辺	300	300	平成17年度～平成20年度	平成17年度～平成20年度	歩道の段差切り下げ及び既 設側溝改修に伴う歩行空間 を確保する工事を実施。	
鎌倉駅周辺地区バリアフリー化事業		鎌倉駅周辺	10	10	平成18年度～平成22年度	平成18年度～平成22年度	—	
鎌倉駅舎バリアフリー化事業		鎌倉駅	500	500	平成17年度～平成20年度	平成17年度～平成20年度	平成18年度に実施。	
景観重要建築物保存事業		鎌倉駅周辺	25	25	平成17年度～平成21年度	平成17年度～平成21年度	17年度から21年度までに4 件の景観重要建築物を指 定。	
歩行者尊重道路市民意向調査		今小路通り(市道008-000号線)	4	4	平成18年度	平成18年度	—	
鎌倉アダプト・プログラム		若宮大路	0	0	平成17年度～平成21年度	平成17年度～平成21年度	—	
鎌倉シルバーボランティアガイド事業		鎌倉駅周辺	0	0	平成17年度～平成21年度	平成17年度～平成21年度	—	
パーク&ライド・環境手形PR事業		鎌倉駅周辺	6	—	平成17年度～平成19年度	—	平成20年に計画変更して削 除。	
バス接近表示システム事業		鎌倉駅周辺	200	—	平成18年度～平成21年度	—	平成20年に計画変更して削 除。	
鎌倉駅西口駅前ビル共同化事業		鎌倉駅西口	840	—	平成17年度～平成21年度	—	平成19年に計画変更して削 除。	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無		
				基準 年度		基準 年度		目標 年度					あり	なし		
指標1	安全な歩行者空間満足度	%	平成18年度から毎年継続している市民意識調査の結果を基にした満足度の上昇率を「平成20年度市民意識調査」の結果に乗じた数値を評価基準日の評価値を推計。	-		16	H15	40	H21	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定	見込み	●	25.6		
指標2	ミニバス利用者移動時間	分/片道	・鎌倉駅西口改札から市道027-000号線を徒歩でバス停鎌倉市役所前まで移動し、そこからバスに乗車し終点のバス停鎌倉中央公園入口に至る時間の合計。 ・実測とバス事業者からのヒアリング	-		20	H16	16	H21	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定	見込み	●	20		
指標3	観光客数	万人/年	平成16年以降の観光客数の上昇率を「平成20年神奈川県入込み観光客数調査」の結果に乗じた数値を評価基準日の評価値を推計。	-		1,768	H15	2,000	H21	モニタリング			モニタリング		●	
										事後評価	確定	見込み	●	2,003		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	△:当初設定した目標数値が高かったため、目標達成は難しいとしているが、満足度の実績数値は年々目標に向かって推移している。	
指標2	×:一部権利者の合意が得られず、JR鎌倉駅西口駅前広場の整備ができなかったため、駅前広場に乗車用のバス停を設置できず、目標達成とならなかった	
指標3	○:まちづくり交付金でおこなった各種事業の効果が確実に表れ観光客数は年々増加しており、1年以内の目標達成の可能性は高い。	

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項(指標計測上の問題点、課題等)	
				基準年度		基準年度						
その他の数値指標1	%	観光振興に取り組む姿勢の満足度(市民の満足度)	-		63.7	H15	モニタリング			79.7	公衆トイレの建替えや観光ルート板、名所掲示板などの多言語化改修などの来訪者をもてなす環境を整備することは、その効果として観光客数を増加させるとともに、もてなす側の市民が観光振興策を評価することにも繋がっていく。 平成18年度策定(平成19年3月)の第2期鎌倉市観光基本計画では、来訪者の満足度を高めると同時に、観光振興に対する市民の理解を高めることも重要であると位置づけており、来訪者と市民が調和のとれた関係を築くことを示している指標としてふさわしいと考えられる。	指標1を補完し、駅周辺の観光振興に配慮した都市空間の再整備を説明しつつ、まち交対象エリア全体での観光振興に対する取り組みについても説明を行う。
							事後評価	確定	見込み ●			
その他の数値指標2	%	道路交通環境に関する満足度	-		7.2	H15	モニタリング			14.8	鎌倉市でも特に多くの来訪者が訪れる鎌倉駅周辺地域では、狭隘な道路環境により交通渋滞や歩行者の安全確保に支障をきたす状況となっている。このため、道路環境を整備し歩行者の安全を確保する取り組みは、日常生活を営む市民にとっては、来訪者以上に重要な事業であると意識しており、市民意識を示している指標としてふさわしいと考えられる。	指標2を補完し、歩行空間の改善を説明する。
							事後評価	確定	見込み ●			
その他の数値指標3	%	観光客の満足度	-		59.2	H17	モニタリング			80.0	公衆トイレの建替えや観光ルート板、名所掲示板などの多言語化改修などの来訪者をもてなす環境を整備することは、その効果として観光客数の鎌倉観光に対する満足度を向上させ、リピーターの確保につながると考えられる。	指標1を補完し、駅周辺の観光振興に配慮した都市空間の再整備を説明しつつ、まち交対象エリア全体での観光振興に対する取り組みについても説明を行う。
							事後評価	確定	見込み ●			

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- ・駅前の歩行空間の拡幅とバリアフリー化により、小学生の通学やベビーカー利用、子どもと歩く方などから、歩きやすくなったという声が聞かれた。
- ・踏切の歩行空間が狭くて危険だったが、歩行空間の拡幅とカラーによる明示により、安全に通行できるようになったという声が聞かれた。
- ・市民との協働作業により、市民のまちづくりに対する意欲が大きく向上した。
- ・観光案内サインが多言語されたことにより、外国人観光客からまち歩きしやすいとの声が聞かれた。
- ・公共トイレがバリアフリー化されたことによって、障害者から安心して利用できるようになったとの声が聞かれた。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
市民参画によるまちづくりの推進活動	予定どおり実施した	● 【実施頻度】平成10年から年2回程度 【実施時期】平成10年～ 【実施結果】都市再生整備計画の根幹となる「古都中心市街地まちづくり構想」 「鎌倉駅西口周辺まちづくり基本計画」等を取りまとめた。	今後も市民参画体制を継続し、計画づくりを進める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
市民参画によるまちづくりの推進活動	予定どおり実施した	● 古都中心市街地まちづくり構想の策定主体から、構想全体の推進を見守っていく組織として、年2回程度の協議会を開催している。	【組織名】古都中心市街地まちづくり協議会 【概要】平成10年発足。地元町内会、商店会、公共的団体、公簿市民、学識経験者。	今後も市民参画体制を継続し、計画づくりを進める。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
まちづくり交付金事後評価検討チーム	関係各課係長級職員(道路整備課、公園海浜課、観光課、中央図書館、総務課、河川課、文化財課、交通政策課、鎌倉深沢地域整備課、都市景観課、経営企画課)	第1回 平成21年7月16日 第2回 平成21年10月8日	経営企画課(まちづくり交付金担当課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		その他の数値指標1		その他の数値指標2		その他の数値指標3		指標3	
指標名		観光振興に取り組む姿勢の満足度(市民の満足度)		道路交通環境に関する満足度		観光客の満足度		観光客数	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路・市道001-000号線(小町小路)	○	・観光客へのホスピタリティを向上させる取り組みは、観光地であり住宅地である鎌倉に住む市民の生活環境向上にもつながってくる。 ・したがって、観光振興に取り組む姿勢を評価する市民の意識も向上してきているので、事業効果は高いと判断できる。	◎	・市民意識調査項目の一つに「道路交通環境」に関する取組みに関する項目がある。 ・この項目も、安全安心歩行エリアの整備など、事業の成果を直接的に判断できる指標であり、満足度の数値も向上していることから、事業効果は高いと判断できる。	○	・公共トイレ、観光ルート板、名所掲示板などの整備は、観光客(外国人観光客を含む)に対する満足度に貢献した。 ・鎌倉駅東口駅構内観光案内所については、案内カウンターや窓口を拡大したことにより、提供する情報や資料の充実が図れた。	○	・公共トイレ、観光ルート板、名所掲示板などの整備は、観光客(外国人観光客を含む)に対するホスピタリティの向上に大きく貢献した。 ・鎌倉駅東口駅構内観光案内所については、案内カウンターや窓口を拡大したことにより、提供する情報や資料の充実が図れた。 ・こうした直接的な取り組みに加え、歩行環境を改善することによって、歩く観光の安全性、快適性を向上させた。 ・これらは、観光客の来訪意識を向上させることに寄与し、観光客数の増加につながったものと考えられる。
	道路・市道002-000号線(海岸通り)	○							
	道路・市道008-000号線(今小路通り)	◎							
	道路・市道027-000号線(市役所通り)	○							
	道路・市道032-000号線(小町通り)	◎							
	道路・市道032-029号線(小町路切)	○							
	道路・市道001-052号線他2路線	○							
	公園・材木座四丁目街区公園	◎							
	地域生活基盤施設・観光案内サイン	◎							
	高質空間形成施設・市道027-010号線	○							
	高質空間形成施設・市道032-000号線	○							
	高質空間形成施設・市道205-091号線	○							
	高質空間形成施設・鎌倉駅東口駅前広場	○							
	高質空間形成施設・公共トイレ	◎							
高次都市施設・鎌倉駅東口駅構内観光案内所	◎								
バリアフリー環境整備事業・鎌倉中央図書館	◎								
提案事業	地域創造支援事業・住居表示ユニバーサルデザイン化事業	◎							
	地域創造支援事業・雨水管渠築造事業	○							
	地域創造支援事業・亀ヶ谷切通し保存修景整備事業	○							
	地域創造支援事業・自転車等駐輪対策事業	○							
	地域創造支援事業・御成小学校冠木門保全事業	○							
	事業活用調査・鎌倉駅西口周辺地区整備推進計画策定事業	△							
	事業活用調査・景観地区指定調査検討事業	◎							
	事業活用調査・事業効果分析業務	○							
関連事業	まちづくり活動推進事業・市民参画まちづくり活動支援事業	△							
	鎌倉由比ガ浜商店街活性化事業	◎							
	鎌倉駅周辺地区歩行者交通安全対策事業	○							
	鎌倉駅周辺地区バリアフリー化事業	○							
	鎌倉駅舎バリアフリー化事業	◎							
	景観重要建築物保存事業	◎							
	歩行者尊重道路市民意向調査	○							
	鎌倉アダプト・プログラム	◎							
	鎌倉シルバーボランティアガイド事業	◎							

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	今後の活用	今後の活用	今後の活用
今後も市民との協働により観光客へのホスピタリティの向上に努めるとともに、観光ボランティアなどの取り組みの検討も進めたい。	歩行空間の改善は、地域住民からも評価をされており、今後も順次整備を進めていきたい。	外国人観光客も見据えた案内板設置や観光案内所の改善により、サービス向上を図ったが、今後はより快適で安全でまち歩きができる検討を進めていきたい。	外国人観光客も見据えた案内板設置や観光案内所の改善により、サービス向上を図ったが、今後はより快適で安全でまち歩きができる検討を進めていきたい。

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標2								
指標名		安全な歩行者空間満足度			ミニバス利用者移動時間								
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	道路・市道001-000号線(小町小路)	△	一部鎌倉駅西口周辺の整備	Ⅲ	—	鎌倉駅西口周辺地区整備及び市役所前交差点整備は、当初の設定にも課題があったことなどから、目標の達成には至らなかった。しかしながら、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方	Ⅲ	—			—		
	道路・市道002-000号線(海岸通り)	△	に着手できなかったことや、		—								
	道路・市道008-000号線(今小路通り)	△	当初の設定にも課題があったことなどから、		×								
	道路・市道027-000号線(市役所通り)	△	目標の達成には至らなかった。しかしながら、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	道路・市道032-000号線(小町通り)	△	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	道路・市道032-029号線(小町踏切)	△	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	道路・市道001-052号線他2路線	△	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	公園・材木座四丁目街区公園	△	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	地域生活基盤施設・観光案内サイン	—	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	高質空間形成施設・市道027-010号線	△	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	高質空間形成施設・市道032-000号線	△	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	高質空間形成施設・市道205-091号線	△	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	高質空間形成施設・鎌倉駅東口駅前広場	△	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	高質空間形成施設・公共トイレ	—	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
高次都市施設・鎌倉駅東口駅構内観光案内所	—	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方	—										
バリアフリー環境整備事業・鎌倉中央図書館	—	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方	—										
提案事業	地域創造支援事業・住居表示ユニバーサルデザイン化事業	—	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方	Ⅲ	—	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方	Ⅲ	—			—		
	地域創造支援事業・雨水管渠築造事業	—	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	地域創造支援事業・亀ヶ谷切通し保存修景整備事業	△	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	地域創造支援事業・自転車等駐輪対策事業	△	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	地域創造支援事業・御成小学校冠木門保全事業	△	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	事業活用調査・鎌倉駅西口周辺地区整備推進計画策定事業	×	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		×								
	事業活用調査・景観地区指定調査検討事業	—	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	事業活用調査・事業効果分析業務	—	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
まちづくり活動推進事業・市民参画まちづくり活動支援事業	×	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方	×										
関連事業	鎌倉由比ガ浜商店街活性化事業	△	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—			—		
	鎌倉駅周辺地区歩行者交通安全対策事業	△	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	鎌倉駅周辺地区バリアフリー化事業	△	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	鎌倉駅舎バリアフリー化事業	△	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	景観重要建築物保存事業	—	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	歩行者尊重道路市民意向調査	△	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
	鎌倉アダプト・プログラム	△	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方		—								
鎌倉シルバーボランティアガイド事業	△	から、満足度が年度ごとに上昇傾向にあり、安全な歩行者空間の整備に向けては概ね予定通り実施でき、市民の方	—										

※目標未達成への影響度
 ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
 ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
 △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
 —：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類
 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
 分類Ⅲ：外的な

改善の方針 (記入は必須)	<p>・引き続き関係権利者と事業の合意に向けて交渉を行う。 ・鎌倉駅西口周辺地区整備に向けて、古都中心市街地まちづくり協議会などで協議を続けていく。</p>	<p>・引き続き関係権利者と事業の合意に向けて交渉を行う。 ・鎌倉駅西口周辺地区整備に向けて、古都中心市街地まちづくり協議会などで協議を続けていく。</p>
------------------	---	---

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
まちづくり交付金事後評価検討チーム	関係各課係長級職員(道路整備課、公園海浜課、観光課、中央図書館、総務課、河川課、文化財課、交通政策課、鎌倉深沢地域整備課、都市景観課、経営企画課)	第1回 平成21年7月16日 第2回 平成21年10月8日	経営企画課(まちづくり交付金担当課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
公共施設・観光スポットまでの歩行者動線や施設等のバリアフリー化	安全な歩行者空間の整備によりバリアフリー化は一部達成された。	道路については、権利者との合意や財政状況の悪化により、一部区間のみの整備となったため、引き続き未整備部分の事業実施が必要である。	
公共交通であるバスの駅前乗降場の整備	-	鎌倉駅西口広場整備については、一部権利者との交渉が難航し、合意形成が得られなかったが、今後も協議を継続し事業実施を図る必要がある。	
観光客をあたたかく迎え入れる施設や空間の確保	公共トイレの改修や観光案内サイン整備事業により、観光客に対するホスピタリティは向上した。	公共トイレのバリアフリー化などの整備は、引き続き必要である。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	安全・安心な歩行空間の確保	未整備箇所について事業を実施する。	・市道027-000号線(市役所通り)の整備など
	観光客へのホスピタリティの向上	・公共トイレや案内板などの改修・整備をしていく。 ・不足する観光客への公共トイレの設置については、商店の協力体制などソフト事業も含め検討を行う。	・観光案内板等の整備 ・光明寺、鶴岡八幡宮等の公共トイレ整備

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	道路等の権利者との合意形成	権利者等との協議・合意形成に向けた交渉を継続していく。	・市道027-000号線(市役所通り)の整備など
	鎌倉駅西口周辺地区の改善整備	権利者等との協議・合意形成に向けた交渉を継続していく	・鎌倉駅西口広場の整備
	公共トイレのバリアフリー化などの推進	計画的に改修を実施していく。	・光明寺、鶴岡八幡宮等の公共トイレ整備

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

- 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
- 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
- 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
- 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

		単位	従前値		目標値		評価値			目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み	●		○	△	×	○	●	予定時期
指標1	安全な歩行者空間	%	16	H15	40	H21	確定	●	25.6	△	あり	●	→	平成23年3月	平成22年度市民意識調査の結果を用い、確定値とする。	
指標2	ミニバス利用者移動時間	分/片道	20	H16	16	H21	確定	●	20	×	あり	●	→			
指標3	観光客数	万人/年	1,768	H15	2,000	H21	確定	●	2,003	○	あり	●	→	平成23年5月	平成22年神奈川県入込み観光客数調査を用い、確定値とする。	
指標4				H		H	確定				あり	●	→			
指標5				H		H	確定				あり	●	→			
その他の数値指標1	観光振興に取り組む姿勢の満足度	%	63.7	H15			確定	●	79.7				→	平成23年3月	平成22年度市民意識調査の結果を用い、確定値とする。	
その他の数値指標2	道路交通環境に関する満足度	%	7.2	H15			確定	●	14.8				→	平成23年3月	平成22年度市民意識調査の結果を用い、確定値とする。	
その他の数値指標3	観光客の満足度	%	59.2	H17			確定	●	80.0				→	平成23年5月	平成22年神奈川県入込み観光客数調査を用い、確定値とする。	

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングを実施することにより、交付期間の途中でに事業の効果を確認できる。 ・毎年データが算出できる指標を選定するとモニタリングが容易となるため、指標を設定する際には計測のことも考慮して検討することが望ましい。
	うまくいかなかった点	モニタリングを実施しなかったため、的確な目標値を捉えられなかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		<ul style="list-style-type: none"> ・事業中止になることも想定して、的確な目標値を設定する必要がある。 ・都市再生整備計画の作成時には、事後評価の実施を考慮して指標を設定する必要がある。 ・住民にも説明がわかりやすい指標設定をする必要がある。 ・目標と指標については、計画段階で評価時を想定した設定が必要である。
	うまくいかなかった点	<ul style="list-style-type: none"> ・目標値のルール付けがなかったため、高めに設定してしまった。 ・事業実施の見込みをふまえ、モニタリングにより指標等の見直しが必要であった。 ・当初指標1の歩行者空間満足度に対する実際の設問が、ストレートな質問ではないので、やや整合性に欠けていた。 	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	材木座四丁目公園などは、地域住民の参画を得て計画づくりがなされたことから、コミュニティ意識が芽生えた。	<ul style="list-style-type: none"> ・住民参加はまちづくり事業を円滑にする上で有効である。 ・まちづくりをしてまちがどのように変化したかを、市民に実感をもたせるような情報発信の工夫が望ましい。 ・市民が積極的にまちづくりに参加していただく工夫が必要である。 ・駅など多様な人が利用する場所については、観光等の利用者と居住者の意見交換の場を設定するなど、様々な側面から意見を集約することが有効である。 ・今回のまち交も含め、事業においてお金がどこからきてどのように使われたかなど、プロセスを見せることが必要である。
	うまくいかなかった点	<ul style="list-style-type: none"> ・事業によってまちがとてもよくなっているが、そのまちの変化を住民に充分伝えていない。 ・事後評価の住民公表の際に意見がなかった。 	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	事後評価の実施によって、事業課の事業成果を確認することへの意識が高まった。	事後評価のみでなく、モニタリングを実施し、事業の進捗途中段階での事業効果をみながら事業を実施を進める。
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6ー参考記述 今後、まちづくり交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

- ・今後のまちづくり交付金の活用予定
当地区において、鎌倉駅西口広場整備改善が必要と思われるので、2期計画に繋げて活きたい。
- ・今後、事後評価を予定する地区
本市においては、平成22年度に大船駅周辺地区において事後評価の実施予定。当地区の事後評価を踏まえて、円滑に事後評価を実施したい。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成21年10月15日～11月16日	平成21年10月15日～11月16日	担当課への 郵送、FAX、電子メール	経営企画課 (まちづくり交付金担当課)
広報掲載・回覧・個別配布	広報に市のホームページで原案を公表している旨を掲載	平成21年10月15日発行 広報10月15日号	平成21年10月15日～11月16日		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	窓口閲覧	平成21年10月15日～11月16日	平成21年10月15日～11月16日		

住民の意見	なし
-------	----

(6) まちづくり交付金評価委員会の審議

添付様式8 まちづくり交付金評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	・志村 直愛 東北芸術工科大学 准教授 (委員長)	第1回 平成21年10月2日 第2回 平成21年11月27日	経営企画課 (まちづくり交付金担当課)	鎌倉市まちづくり交付金 評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	・社団法人 鎌倉市観光協会 専務理事 (副委員長) ・市民代表				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	-
	成果の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・指標1「安全な歩行者空間満足度」について、実際の住民への設問が「生活しやすい市街地が形成されているか」という設問で、やや整合性にかけた指標となっている。その他指標で補完はされているが、計画段階において、わかりやすい指標の設定をすることは今後の課題である。 ・今回の鎌倉駅西口整備が権利者等の合意が取れず、未整備となり指標も未達成となっているが、市民の希望や権利者の利益など様々な側面から検討し、事業の際にも市民や専門家の視点からチェックしていくことが重要である。 ・計画の目標と指標については、計画段階で評価時を想定した設定が必要である。
	実施過程の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会等では、まちづくりに参加している実感がもてるが、それらの活動を市民全体に伝わっているかは疑問であり、まちの変化やまちづくりの機運が高められるような工夫が必要である。 ・行政まかせでなく、自分たちの意見をだして実現させていくやり方があるよと思う。
	効果発現要因の整理	<ul style="list-style-type: none"> ・目標未達成の指標についても、事業単体の効果を見たときには、事業効果がでている事業もあるため、事後評価シートの問題でもあるが、効果のあった事業については△でなく、効果があったと示せるようにしたほうが良い。
	事後評価原案の公表の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・公表方法等については妥当であることが確認された。公表結果の意見が出ていないが、このような情報が出ていることを知らない市民も多い。難しいことではあるが、もっとインパクトのある公表のやり方があればよと思う。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりをして、まちがどのように変化したかを市民に実感をもたせるような工夫が必要である。 ・駅など多様な人が利用する場所については、観光等の利用者と居住者の意見交換の場を設定するなど、様々な側面から意見を集約することが有効である。 ・平成15年から市民意識調査を実施し、目標に向けて事業を進めてきたことについては、よくやってくれたと評価したい。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・評価委員会で出された意見を今後のまちづくりに活かしていくことで了承。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・不足している観光客への新設トイレの設置が難しい場合は、協力店舗に補助を出したり、観光客と商店と行政が調整するなど、ソフト事業で解決していくことも必要である。
	フォローアップ	-
	その他	-
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・評価委員会で出された意見を今後のまちづくりに活かしていくことで了承。
その他		-

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。